

第3回 「豪雨災害から人々を守る科学技術とは」

日時	2026年9月26日（土） 15時00分～16時30分
講師	二瓶 泰雄 教授 東京理科大学 創域理工学部 社会基盤工学科
講義概要	<p>近年、世界各地で地震、津波、洪水、林野火災などの様々な災害が発生しています。気候変動の影響を受け、自然災害、特に豪雨災害の脅威は年々増加しています。このような豪雨災害から人々の生命と生活を守るために、様々な場面で科学技術が使われていますが、一般にはあまり知られていないかもしれません。本講座では、まず、豪雨災害が発生するメカニズムを、最近の事例を踏まえて紹介します。その次に、豪雨災害を防ぐ、減らすために、どのような科学技術が使われて役立っているのかを説明します。最後に、自分達でもできる対策や将来望まれる科学について考えてみます。</p>
参考図書	